



清泉小学校
Seisen Elementary School

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下3-11-45

0467-25-1100(代表)

<https://seisen-e.ac.jp/>



School
Guide
2025

清泉小学校
Seisen Elementary School

Miura
Nature Field

1947年4月、
戦後間もない混乱期、
聖心侍女修道会のシスター達によって
清泉小学校は開設されました。





清泉のルーツ

建学の精神

互いに愛し合いなさい。
わたしがあなたがたを愛したように、
あなたがたも互いに愛し合いなさい

(ヨハネ13章34節)

清泉の設立母体である聖心侍女修道会の創立者、聖ラファエラ・マリアは、
子ども達一人ひとりを宝として大切にし、
子ども達の心が、神への深い信仰をもとにして神と人を愛する人に育つことを望まれ、
世界中の子ども達のために学校をはじめました。
この精神のもと、清泉では子ども達一人ひとりを神からいただいたかけがえのない人格として認め、
大切にし、個性を尊重してその子どもらしく成長するよう、
可能性をのばすことを助ける教育を世界中で続けています。

沿革

清泉小学校の設立母体である「聖心侍女修道会」は、1877年(明治10年)ラファエラ・マリア・ボラスと姉のピラールにより、スペインのマドリッドに創立されました。ラファエラ・マリアは聖心侍女修道会の初代総長として、神の「福音」を述べ伝える教育、特に貧しく恵まれない人々の教育に力を尽くしました。亡くなつて後、その謙遜と従順な姿勢から、1977年1月23日、列聖され、聖人の列に加えられ聖ラファエラ・マリアとなりました。



聖心侍女修道会の創立者
ラファエラ・マリア・ボラス



1934年にはじめて来日した
聖心侍女修道会会員

校長メッセージ

お友だちを大切に

～優しく強く成長する子ども達～

「清泉小学校は温かい学校ですね。」

「初めて会った私にも子ども達が挨拶をしてくれました。」

などと、校内見学をされた方々から感想をいただきます。「お友だちを大切に」という小学校の目標が脈々と受け継がれていることを実感しています。

「お友だちを大切に」は本校が大事にしている言葉です。「互いに愛し合いなさい」というイエス様の言葉が根幹となっています。

子ども達一人ひとりは、かけがえのない大事な存在です。どの子どもも、神様から素晴らしいタレントをいただいている、そのタレントはみんな違います。その違いを互いに認め合い、お友だちの良さに気づいて、仲間と共に高め合います。だから学校生活は楽しいのです。

自分はどんな賜物をいただいているか、自分で気づいていることもあります、お友だちや教員からの声かけで気づくこともあります。その各々の素晴らしい賜物を他者のために使っていかれるように、私達は励ましています。自分を大切にするのと同じように、周りの方を大切にする心は、学校生活を通じて自然と沁み渡っていくのです。

卒業までの6年間の伸びは大きく、心は優しく強く、体は逞しく成長します。

清泉小学校での学校生活が、これから歩んでいく長い人生の土台となり道標となるように、私達は日々子ども達を支え、共に歩んでいきます。

ぜひ清泉小学校にいらしてください。そして子ども達がどのような学校生活を送っているか、知っていただけたら幸いです。



清泉小学校 校長 有阪 奈保子



小学校教育で大切な3つの柱

人間としての生き方の土台作り

～カトリック教育を通して～

世界の中で心豊かな一人の人間として生き抜いていくためには、
周りに流されることなく、神様が何を求めておられるのか見極める力を持つことが大切です。
『たとえ、みんながしても、それが正しくないことなら、私はそれをしない。
たとえ、みんながしなくとも、それが正しいことなら、私は一人でもそれをしよう。』

基礎学力の徹底

見える学力「読む、書く、聞く、話す、計算」と
見えない学力「意欲、関心、興味、想像力、発想力、粘り強さ、集中力、思いやり」
これらを合わせたものを基礎学力として位置付けています。
繰り返し行う日々の学習で見える学力を高め、学校行事、総合学習、自然教室での活動など、
学校生活のあらゆる場面で「仲間と共に仲間から学ぶ」経験を通して、
見えない学力を育んでいく仕組みが清泉小学校の中には散りばめられています。

個と集団の関わりを学ぶ

自分の考えをしっかり持つこと、そしてそれを発信する力、
また周りのお友だちの考えをしっかり聞いて受けとめて、
みんなでどう進んでいくかを学んでいくことは大切です。
みんなで作り上げる各行事、
子ども達が自ら課題を見つけ学びの必然性を持って取り組む総合学習、
自然の中で自由に学ぶことの出来る三浦自然教室での体験を通して、
心も体も大きく成長していきます。

生き方の土台づくり

～カトリック教育を通して～

神のみ前に 清く 正しく 愛深く

自分の存在の大切さに気付く

性・国籍・民族・能力・健康などの区別なく、一人ひとりがかけがえのない存在であり、好きか、気が合うかではなく、その人を存在そのものとして大事にする心。感謝する心。祈る心。ゆるす心。自分の弱さを知る心。どんな時にもあきらめることなく希望を持ち、喜びと感謝に満ちた日々を過ごせる心。目に見える利益や結果より、目に見えない精神的価値を大切にする心を育てます。



誠実さ

清泉小学校で大切にしている「誠実さ」は「真心」と言い替えることができます。「神に誠実な人は、人にも誠実な人」神に対して、真心から向き合いその教えに従って歩もうとする人は、周りの人に対しても真心を込めて向き合います。子どもたちは一人ひとりを愛してくださる神の心に触れるうちにお友だちとの関わりの中で誠実さを育んでいきます。



他者を思う心

『人にももらいたいと思うことを、人にもしなさい』
(ルカ6章31節)

自分の幸せだけを考えるのではなく、自分に与えられた能力を知的にも人間的にも充分に伸ばすことに意欲を持ち、創造性と応用力、国際性を身につけ、あらゆる機会を生かして喜んで他者の幸せに尽くす人を育てます。



宗教

本校では「道徳」の教科に代えて『宗教』の授業を行っています。週に一度の宗教の授業では、学年に応じて、「人間の思いをはるかに超える神という存在」について、また、「その神が私たちを創り、いつも共にいて下さること。」

「自分であれ、他の人あれ、神からいただいた命を大切にすること。」
そして、「神から愛されたものとして、互いに愛し合うこと」を伝えています。

祈る

「祈る」とは神とつながること。子ども達はさまざまな場面で、「神」という目に見えない存在と対話することを体験します。一人心静かに神と向き合う時、自分と向き合う時を大事にしています。また、お友だちと声を出して祈る時には、声を合わせ、心を一つに唱えます。他の人のために祈りを捧げることは人間にしかできない美しい行為です。祈りの時を通して、私たちを愛して止まない神の心に触れ、優しい心で人との関わりを生きる人を育てます。



ハンガーバンケット

6年生では、飢餓という状況も含めた世界の食料事情を疑似体験する「ハンガーバンケット」を行います。先にくじを引いて「高所得者」「中所得者」「低所得者」の3つのグループに分かれます。高所得者が、ビュッフェ形式で自由に食事を取る横で、中所得者と低所得者の子ども達には、それぞれ一日分の食事が配られます。子ども達は不条理な格差を感じ、それぞれの立場で感じたことを食事後に分かち合います。この経験は、世界に目を向け、貧困を考え、そして自分自身を見つめ直す貴重な機会となっています。



チャリティー活動

～世界のもう一人のお友だちの笑顔のために～

清泉小学校では、チャリティー活動にも積極的に取り組んでいます。「世界のもう一人のお友だちのために」をキャッチフレーズに世界の貧困や困難に目を向けて、募金活動を行っています。40年近く前の学級委員会の児童の発案によって始まったお弁当のおかずを我慢しその費用分を募金として集める「チャリティー弁当」の習慣は、今の子ども達にも引き継がれています。また、クリスマスが近づくと「もう一人のお友だち」も喜びの内に温かいクリスマスを迎えることができるようになると、聖心侍女修道会のシスターを通して海外にクリスマス募金を送っています。



算数



お友だちと共に多様な解き方を見つけ楽しむ

「計算力」「イメージ力」「自力解決力」3つの柱を大事にしています。

自ら考えるだけでなく、1つの答えに向かって、さまざまな解法があることに気づき、仲間と共に仲間から学びます。

生活と算数を結びつけ、豊かな数感覚を養う

生活の中に算数があることを体感することも重要です。特に低学年では、総合学習の中に取り入れながら、次年度以降で学ぶことも必要とあれば取り上げています。

抽象的な問い合わせ具体物から図や表へ

～段階を追ったイメージ力の育成～

イメージ力は、文章を読み取って、その場面を頭の中に描いてみる力です。絵に表しながら、時には線分図や表、図に描きながら、解決に向けて順序立てて考えていきます。

速く正しく計算するための反復練習

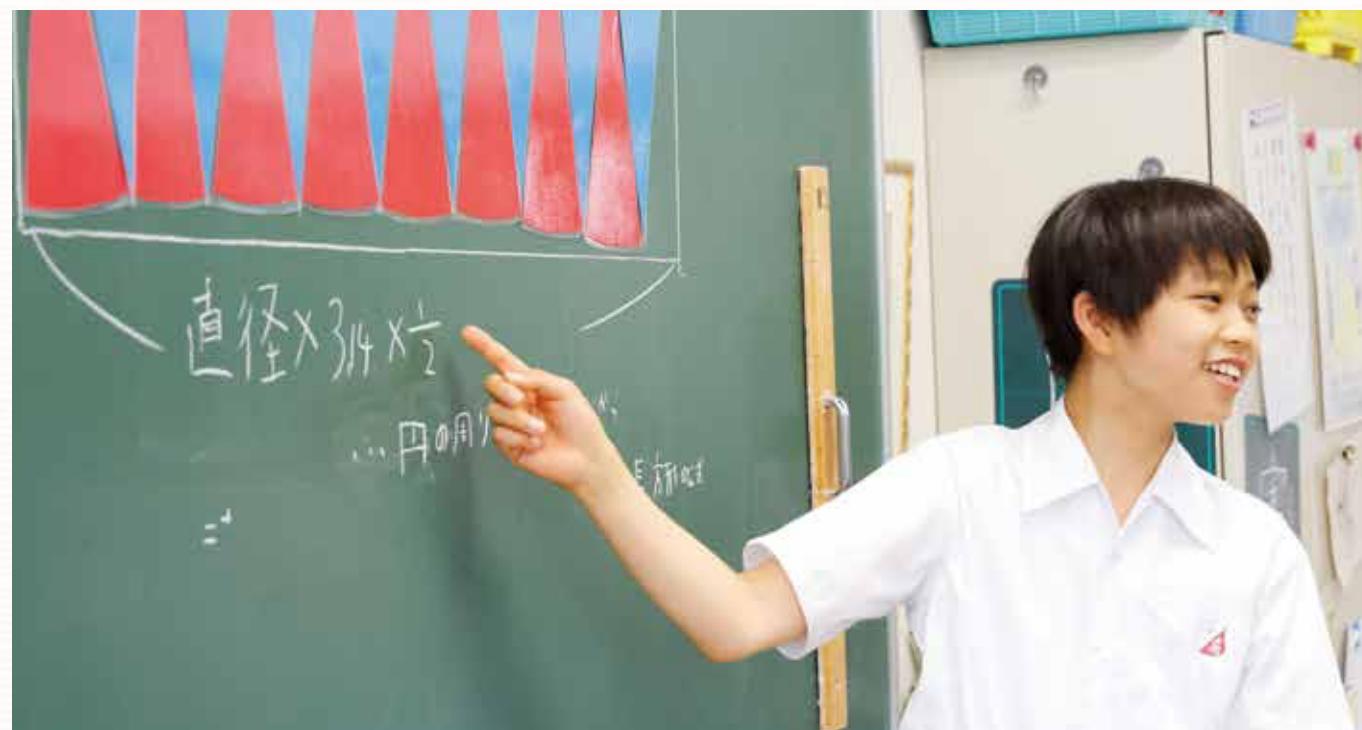
～計算力～

計算力はすべての基礎です。力をつけるためにドリル練習を通して、日々こつこつ繰り返し積み重ねていきます。清泉小学校独自の計算検定を行い、子ども達の励みとしています。

自分で問題を解く力を育てる

～自力解決力～

自力解決に向けて粘り強く、あきらめずに考えることを大事にしています。5・6年生では、単元ごとに自分で選択したコースで学習します。



理科



実験・観察・考察を通して、自然の理を読み解く

清泉小学校は、校内の森や三浦の自然教室といった豊かな自然に恵まれています。

また、授業を理科専用棟で実施することで、実験や観察、そして考察を大事にした学習を進めていくことができます。

理科専用棟で、仲間と学びあう

博物館をイメージした理科棟は、様々な展示物やプラネタリウムなど子ども達の好奇心を引き出すものに溢れています。授業にも活用されています。

五感を活かして、本物にふれる

教科書や資料写真で済ませることなく、可能な限り本物にふれることで、目で見たり、手で触れたり、匂いを嗅いだり、音を聞いたりと五感を使って学びを深めることを大事にしています。

主体的に取り組む姿勢を育む

授業の中では、知識だけでは答えが出ない発展的な学習を取り入れたり、家庭学習に向けて、授業に関連する事柄を掘り下げてみるように促したりするなど、自ら学ぶ姿勢を育んでいきます。

自分達の力で自然の中に答えを見つける

子ども達は自然をよく観察し、実験することで、あらかじめ決まっている自然の理(ことわり)を、自分たちの力だけで読み解くことができます。



英語 ABC

世界にいるもう一人のお友だちのために

「世界にいるもう一人のお友だちのために」という清泉スピリットの実現のため、

将来、習得した語学力を生かして、困っている人たちのお役に立てるよう、日々、英語の授業を行っています。

自然な英語の音を身につける音読練習

音読することで英語を英語の音のまま、体にしみこませていきます。繰り返し行うことで、読むことに慣れ、音と文字が自然と結びつき、読むスピードが速くなります。

アクティビティ中心に英語に慣れ親しむ1年生

1年生の授業では、初めて英語に触れる子ども達が、楽しく学んでいくよう、アクティビティを中心に授業を行っています。2年生以上の授業では、音に慣れ親しむことに重点を置いています。

広い視野を養う交流・語学研修

姉妹校である清泉インターナショナル学園との交流や、5・6年生の希望者を対象に、春休みにオーストラリア語学研修を行っています。英語学習に加えて異文化に触れ、子ども同士の交流を通して広い視野を養い、外国語学習の更なる意欲につながっています。

豊富な語彙を学べるテキスト

テキストはドリマジック社のSmileシリーズを使用しています。1年生から3年生までのテキストでは、単元ごとに、数字や動物、食べ物など、テーマに沿った語彙を約900語学習します。



国語

日本語の美しさを味わい、豊かな心を育む

美しい日本語、名文、名作に触れ、言語感覚だけではなく、豊かな心を育てていくことを目指します。

6年間を通して確かな国語力を身につけられるよう、清泉独自のプランで学習を進めています。

仲間と共に味わう、深い読み

自分の考えと、お友だちの考えの違いから、新たな視点でもものを見る力を養います。教科書に掲載されている名作にとどまらず、子ども達の興味関心に合わせて様々な文学作品に触れます。

読む力を育む「音読」

1・2年生の音読では、子ども達の読む力を育み、文章を速く読めるようにするために、いろいろな種類の文章を、数多く、どんどん読み進めていく方法をとっています。

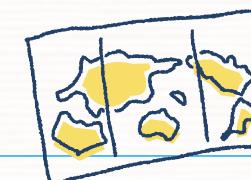
個別指導で美しい字を身につける「おさらい」

1年生から3年生まで、毎日の宿題に「おさらい」があります。字を丁寧に書く訓練だけではなく、学習した漢字の定着、丁寧に課題に取り組む姿勢、日々の学習習慣の確立にも効果があります。

書く力を育む「写し書き」

写し書きでは、教科書や学習教材から選んだお話をノートに全文視写します。子ども達は全文視写することによって句読点や括弧等も文の中で大事な役割を持つことを学びます。

社会



仲間と共に、課題を追究・解決する力を養う

単なる知識の獲得だけではなく、知識を活用することを重視しています。

そして、互いに意見を出し合うことで仲間と共に解決していく力を身に付けていきます。



音楽



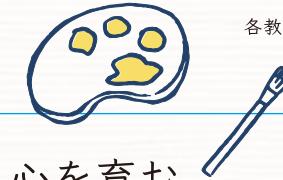
音楽で心を繋ぐ

子ども一人ひとりが持っている、音楽を純粹に楽しむ心を育てると共に、音楽の持つニュアンスの違いを感じる心を育てています。

そのため、音楽から情景を感じる心、音楽の繊細さ、美しい音で表現する耳を大切にしています。



美術



美しいものに感動する心を育む

「美しいものに感動する心」を持つことを目標に考えています。

自分を取り巻く世界の「色やかたち」に関心を持ち、工夫する力を育みます。



体育



仲間と支え合って健康な心身を養う

日々の授業と遊びを通して、意欲を高め、技術を磨き、体力の向上を図ります。

生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために、活力に満ちた楽しく明るい体育の授業を行っています。



総合学習

『見えるものの学びを通して、見えないものを想像し、理解しようとする学力』をつける

子どもは、「本来、わからうとして、できるようにならうとしており、自ら追究し、学ぶ意欲と自分を創っていく力を持っている」と考えます。

友だちと共に成長していく喜びを感じる「総合学習」

子ども主体の学び

～はじめに子どもありき～

各教科では学ぶ内容が事前に決まっています。教員が学習内容を一方的に子どもに教える方が効率的です。しかし、子どもたち自らが主体的に「する」ことよりも、教員に「させられる」ことが多かった反省から、清泉小学校では、昭和57年(1982年)度より「総合学習」を取り入れています。

子どもは、本来、活動的であり、自然に接することを好み、何事に対しても興味をもち、物事を鋭く見抜くものです。子ども達自らの意欲で学びの進路を見つけ、全身全霊で打ちこんでいく、それこそが「総合学習」の大きな願いです。

知識＝学力という時代は終わりました。技術の進歩と便利さが加速している反面、様々なことが予測困難な時代となっています。そのような時代に生きていくための基礎となるものは、たくさんの知識をもつことより、知識を活用して考え、よりよいものを求めていく、生きる力です。

国語×算数×生活×図工＝いづみ

1～3年生では、専科教員による授業(体育・音楽・英語・宗教など)以外はすべて「いづみ」として時間割が組まれています。この「いづみ」は、子どもの生活、望みを尊重し、子どもの学びの道筋に沿って学習を展開します。そのため、決まった時間割の枠にとらわれることなく、自由に時間を使い、弾力的に対応できるようにしています。

	月	火	水	木	金
1	いづみ	いづみ	いづみ	読書	いづみ
2	いづみ	音楽	いづみ	英語	いづみ
3	読書	いづみ	いづみ	音楽	宗教
4	体育	英語	いづみ	いづみ	体育
5	いづみ	いづみ	いづみ	いづみ	いづみ
6	—	—	—	—	いづみ

1学年の時間割一例



1～2年生

自分達で考え方解決する力を育む

子ども達は本来学びたい、知りたい、なぜだろうと考える主体的な学習者です。この子ども達の知的好奇心が学びの中心(テーマ)となり学習が始まります。自分がテーマにしたいと思ったことについて調べたり、実際に話を聞きに行ったりして、皆の前でプレゼンテーションをし、全員が納得するまで話し合います。テーマが決まったら、そのテーマに沿って総合学習は進みます。総合学習では、予想もできない課題に子ども達は次々と直面します。先生が答えをもっているわけではないので、クラスの仲間全員で課題を解決していきます。仲間と協力し、試行錯誤しながら自分達で解決していくことは、これからを生きる力に直結します。



3年生

鎌倉を知ることで

地域社会との繋がりを学ぶ

清泉小学校は源頼朝の御所の跡地に建っています。

3年生では、その立地を活かし、「鎌倉博士になろう」を合言葉に1年間をかけて鎌倉について学びます。

五感全てを使って鎌倉時代に生きた人々に思いを馳せ、これからの鎌倉を考える学びです。



4～6年生

学校行事や縦割り活動を通して、企画力・実行力を鍛える

4年生からは、学校行事の企画・運営を任せされることで力を伸ばしていきます。また、6年生になると「清泉なかよしグループ」という縦割り活動のリーダーも務めます。低学年の総合学習で培った「自ら学び・考える力」を使って仲間とともに、企画、実行していきます。また、SDGsを身近な問題として捉え、自分の取り組みやそれを通して考えた思いをプレゼンテーションする会を行ふこともあります。





Nature 自然教室の願い

ブログ・動画
その他詳細はHPへ▶

～もう一つの学校～

京浜急行三浦海岸駅より徒歩15分の里山、約1万坪の敷地で、
観察・栽培・勤労・合宿の活動などを年に12回前後行っています。

大自然の中でたくましく生きる

子ども達が子どもらしく生きてほしいと願い、大自然の中で様々な体験活動をしています。時間と手間をかけ、自らの手や足を使って主体的に活動しています。

豊かな人間性を育む

知識だけでなく、感性や感情、全身で覚える生活体験、自然の摂理の見事さと厳しさ、背後にある大いなるものへの畏敬の念、それらを育てる教育空間の中で、豊かな人間性が育まれています。

本物との出会いから学ぶ

緑の自然をそのまま教室として、日常の机の上だけでは得ることができない学びをしています。自然の中に溶け込み、本物と出会うことではじめて得られる学びが三浦自然教室にはあります。

仲間から学ぶ

一泊二日の宿泊学習も行われています。寝食を共にする自然教室での生活を通して、仲間の存在の大切さを実感し、お互いの理解と絆を深めています。



湿地

ドジョウやザリガニ、カエルなどの多くの生き物がいます。

ひょうたん池

ひょうたん形の池。スマエビ、カエル、アメンボ、小魚、カニ、ドジョウなどの生き物がいます。

聖ラファエラ・マリア館

宿泊にも使用できる多目的大教室が2室、他にお風呂場、調理室、保健室などがあります。

化石広場

風通しよく屋根がついているため、雨でも活動が可能な野外調理場。かつて化石が採れました。

まよいの森

ハゼ、カラスザンショ、エノキ、ハリギリ等の木があり、春にはタケノコ、秋には紅葉が楽しめます。



みかん園

100本ほどのみかんの木があり、冬になるとみんなでみかん狩りを楽しめます。

水田

5年生が毎年、田植え・草取り・稲刈りを体験します。収穫したモチゴメで餅つきもします。

どんぐり山

コナラやマテバシイなどのどんぐりの木がたくさんあります。アスレチックも楽しめます。

いずみ広場

運動会やテント合宿も行われる芝生の広場。ダンゴムシ、バッタなど様々な生き物がいます。

畑

季節にあわせて多くの作物を育てることができます。





清泉小学校の1日

各学年をクラス担任と複数の副担任が担当し、きめ細やかに一人ひとりの成長を見守ります。

3階建ての校舎の1階には1・2年生の教室があります。教室の外には人工芝が敷かれた中庭があり、休み時間には仲良く遊ぶ姿が見られます。

職員室や図書室、体育館へつながる通路がある2階には、学校生活をリードしていく5・6年生の教室があります。休み時間は校庭や森で元気に過ごしたり、図書室で静かに過ごしたり、教員と会話したりする等の姿が見られます。3階には3・4年生の教室があります。休み時間になるとコーティングされた屋上で元気に遊ぶ姿を見ることができます。

チャイムのならない学校

子ども達が自分で考え判断し、自分で行動できるようになってほしいという願いから、1984年(昭和59年)より授業間のチャイムをなくしました。このことにより、子ども達の自主性が芽生えるとともに、時間割の時間帯にとらわれず、その時の子ども達の興味関心に基づいて授業を行うことができるようになりました。



7:25-8:20
登校



11:50-12:50
昼食・昼休み



8:00
朝の支度・朝休み



12:30-12:45
掃除



8:25
朝のお祈り



12:55-15:20
5-7時間目



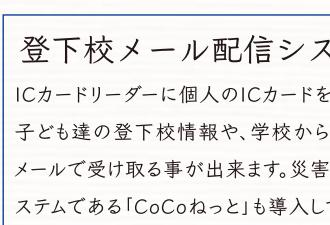
8:40-10:10
1・2時間目



15:50
最終下校



10:20-11:50
3・4時間目



登下校メール配信システム
ICカードリーダーに個人のICカードをかざすことで、
子ども達の登下校情報や、学校からの急な連絡を
メールで受け取る事が出来ます。災害時被災報告シ
ステムである「CoCoねっと」も導入しています。



年間スケジュール

四季のうつろいの中で

聖心のミサやクリスマスの集いなどの宗教行事では、皆で共に心を合わせて神に祈ります。

学年を越えた縦割りでの活動を大切にした行事も行っています。

自然教室の合宿では、互いに助け合い、支え合うことにより、心豊かに成長していきます。

1学期

- ・入学式
- ・1年生歓迎会
- ・こいのぼり大会
- ・若葉の集い
- ・学校の日
- ・マリア様の集い
- ・春の合宿
- ・防災訓練
- ・聖心のミサ
- ・修学旅行(6年生)

2学期

- ・ファミリーバザー
- ・山の学校(5年生)
- ・秋の集い(運動会)
- ・秋の合宿
- ・防災訓練
- ・ハンガーバンケット(6年生)
- ・芸術鑑賞会
- ・クリスマスの集い

3学期

- ・もちつき(2・5年生)
- ・学習発表会(1～3年生)
- ・6年生を送る会
- ・卒業感謝ミサ(6年生)
- ・卒業式
- ・オーストラリア語学研修
(5・6年生希望者)



入学式 4月



修学旅行 6月



クリスマスの集い 12月



聖心のミサ 6月



秋の集い(運動会) 10月



卒業式 3月

学校との連携が取れた放課後

アフタースクール

清泉小学校で学ぶ子ども達の放課後活動の充実を考え、アフタースクールを開設しています。自由な創造性と関わりの中で健やかに育ち、豊かな子ども社会を築く一助と成る事を祈っています。

JR大船駅近くに「清泉アフタースクール大船校」を、学校敷地内に「フエンテ(スペイン語で“泉”的意味)」を開設しています。学校との連携をはかり、利用する子どもについて密に連絡を取り活動しています。大船校とフエンテでは活動内容に違いがありますが、宿題の時間を確保した後に子ども同士で自由に遊ぶ時間をたっぷりとっています。



フエンテ

課外クラブ

学校内にて課外クラブ(陸上クラブ)を開設しています。放課後の時間を活用して、専門知識がある教員の指導の下、健全な心身の発育を促し、普段の学校生活とは異なった子ども社会を形成する場となります。



陸上クラブ

清泉ことは教室

2024年度は、3・4年生を対象に国語の読解に特化した学習を行います。

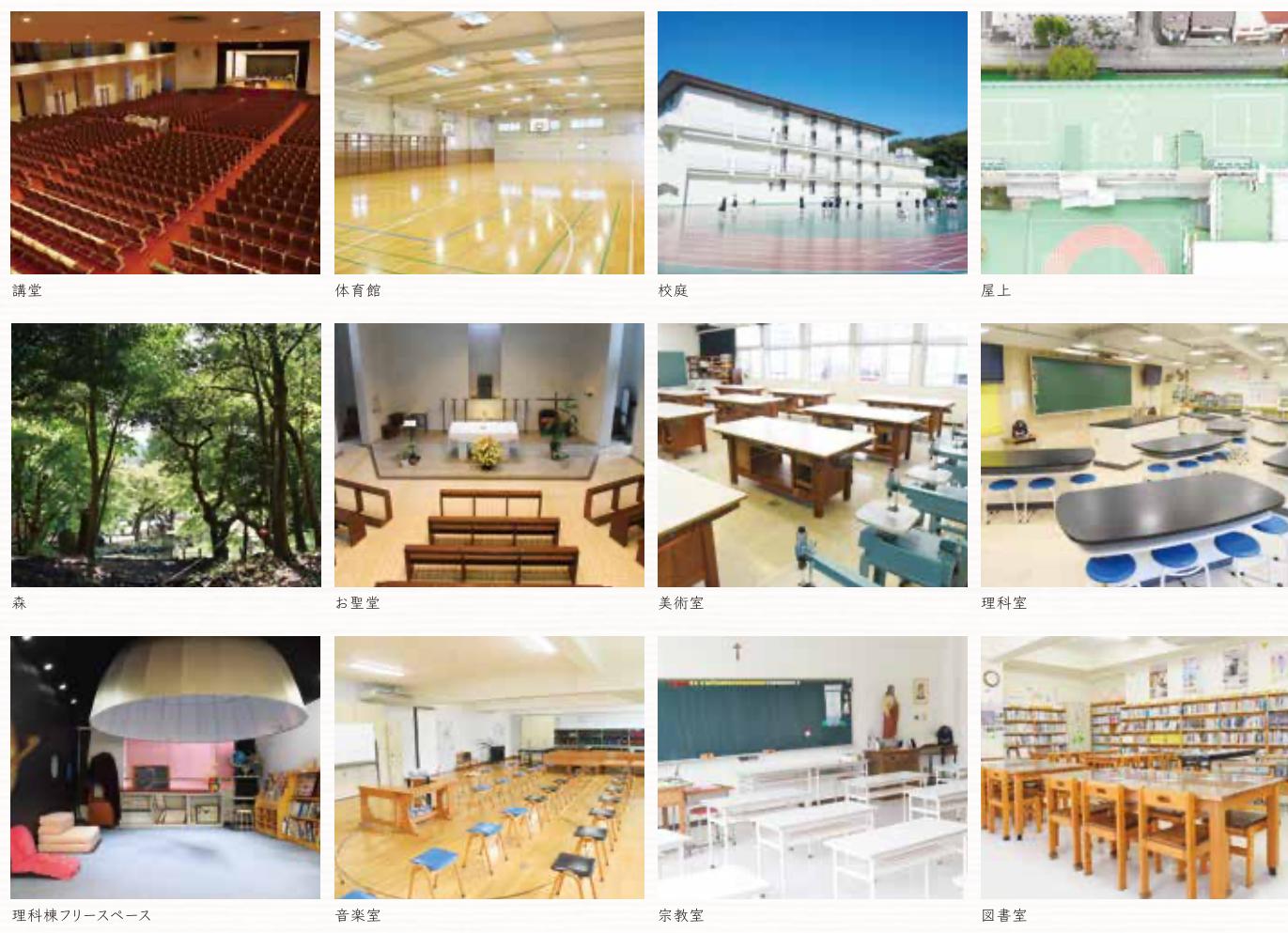


清泉ことは教室

放課後学習サポート

2024年度は、5・6年生の宿題・自学自習のサポートを週2回行います。自立した学習者になることを願っています。

清泉小学校の施設



制服紹介

冬の制服

ベージュ色のシャツに紺のネクタイ、グレーの靴下が特徴的な清泉小学校の冬の制服。
この制服が取り入れられたのは戦後間もない1949年頃のことでした。特徴的なベージュのシャツは、新しい物がなかなか揃えにくい中でも、汚れが目立たず長く着られるようにシスター達が紅茶で染めてベージュ色にしたのが始まりだと言われています。



夏の制服

1~3年生の女子は、白い襟とボタンがついた水色のワンピース、4~6年生の女子は白い丸襟ブラウスにネイビーとグリーンのチェック柄のスカート。男子はライトグレーのハーフパンツに白の開襟シャツを着用します。





清泉小学校は鎌倉幕府跡にあります。
治承4年、源頼朝はこの地に鎌倉幕府を開きました。
学校の裏山にある源頼朝の墓、
悠久の歴史を感じられる場所。



学校周辺の史跡

三方を山で囲まれた穏やかな海辺に、源氏の嫡流頼朝と坂東武者たちが力を合わせて築いた鎌倉の町は、日本で初めての武士の都としてその後永く繁栄しました。清泉小学校周辺の史跡を巡ると、その重層的な歴史を感じることができます。



①和賀江島 1232(貞永元)年に築造された現存する日本最古の築港遺跡です。鎌倉の海は遠浅で船の出入りが難しいことから執権北条泰時の後援で造られました。戸時代まで使われていましたがその後石材が運び出されたので、今では干潮時にわずかに海面に顔を出すのみです。②和田塚 1213(建暦3)年、和田義盛と執権北条義時が激突した和田合戦で滅亡した和田一族の墓と伝えられます。③若宮大路 海からまっすぐに鶴岡八幡宮へ続く参道で、周囲より一段高く石積みされているところは段葛と呼ばれます。頼朝は京の都にならい、町の中心となる内裏の位置には鶴岡八幡宮を、そこからまっすぐ延びる朱雀大路の位置には若宮大路を築いて、武家の都の威儀を整えました。④鶴岡八幡宮 頼朝は武士の都の中心に源氏ゆかりの八幡神を祀る鶴岡八幡宮を造営し鎌倉の守り神としました。頼朝が行った放生会や流鏑馬などの祭事は今も継承されています。⑤大倉幕府跡 頼朝が鎌倉に入った1180(治承4)年から約40年、將軍の御所がこのあたりに置かれていきました。広大な敷地に寝殿造の建物が建ち、將軍の住居と幕府の侍所・問注所、政所などがありました。承久の乱の折の政子の演説もここで行われたようです。⑥永福寺跡 奥州合戦で奥州藤原氏の文化に感銘を受けた頼朝が、鎌倉で再現したといわれる淨土寺院の跡です。⑦杉本寺 734(天平6)年創建で鎌倉最古のお寺です。ご本尊は十一面觀音で鎌倉坂東三十三觀音靈場の第一番札所です。⑧名越の切通 「鎌倉七口」や「切通し」という言葉は有名ですが、いずれも後世の呼び名で、鎌倉時代には「名越坂」と呼ばれました。鎌倉から逗子方面に抜ける道で、途中に13世紀から16世紀までの横穴墓「まんだらやぐら群」や石切り場跡「大切岸」などの見どころがあります。

インタビュー



2024年2月現在

在校生の声

好きな授業はなんですか？

宗教の授業が好きです。

宗教は、お祈りができて、授業の最初にお祈りをして、心を落ち着けることができるからです。

三浦自然教室のおすすめの場所はどこですか？

いずみ広場が好きです。

太陽の光を浴びられるし、みんなと鬼ごっこができる楽しいからです。



(1年生)

清泉小学校で好きな場所はどこですか？

森が好きです。みんなで森の遊具で遊ぶことができて楽しいです。

男の子、女の子の仲はどうですか？

性別は関係なく男の子も女の子もみんな仲がいいです。

みんなでドッジボールをして遊びます。



(4年生)

思い出深い学年はいつでしたか？

4年生の時にマリア様の集いで、ヴァイオリンをみんなの前で演奏したことです。

この日のために何回も一生懸命練習して、みんなと力を合わせて劇を成功させたからです。

清泉小学校のいいところを教えてください

自然が豊かなところだと思います。

清泉小学校には、にわとりさんなどの動物もいるし、学校全体が山に囲まれているので、森もあるし、緑があってほっとできる環境です。



(5年生)

卒業生でもある保護者の声

いろいろな考え方の人、いろいろな環境で生きる人、どういう立場におられる方かを想像する力は、「お友だちを大切に」する清泉小学校ならちゃんと育てていただけると思いました。

スクールランチが週2回、清泉オリジナルのかわいいお弁当箱で提供されていることに、変化を感じています。美味しいと帰って来る娘を見て、うらやましく思っています。



井内典子さん(3年生保護者)



高橋亜希さん(5年生保護者)



大川有可さん(6年生保護者)

教員の声

清泉小学校の子どもの良いところを2つ紹介します。

1つ目は、温かい心をもった子ども達です。困っている方がいたら、すっと手を差し伸べる。電車では席を譲る。自分から進んでいきつをする。相手のことを考えて、自ら行動できる子ども達です。それは、低学年の時に総合学習で動物を飼うことが多いので、自分たちでお世話をしている大切さを学んでいるからでしょう。

2つ目は、何事にも意欲的で一生懸命取り組めることです。普段の学習は分かるまで何回も繰り返し、粘り強く取り組みます。それは、1年生から勉強する習慣をついている証です。また、お友だちと協力して、様々な行事を成功させようと一生懸命取り組める子ども達です。



白川和志先生

進学状況

男子進学状況（過去5年間）

浅野中学、栄光学園、開成中学校、鎌倉学園、関東学院、関東学院六浦、暁星中学校、公文国際学園、慶應義塾普通部、栄東中学校、サレジオ学院、静岡聖光学院、秀明中学校、湘南学園、逗子開成中学校、聖光学院、高輪中学校、桐蔭学園中等教育学校、藤嶺学園藤沢中学校、日本大学藤沢中学校、法政大学第二中学校、茗溪学園、山手学院、横須賀学院、横浜中学校横浜サイエンスフロンティア附属中学校、横浜市立南高附属中学校他、公立中学校

女子進学状況

女子は大半が清泉女学院中学校に進学し、学習・クラブ活動・委員会活動においても大いに活躍しています。

Q&A

Q 宗教行事があるようですが、キリスト教について詳しくなくても、大丈夫でしょうか。

A お子さま・保護者の皆様に、キリスト教の信仰は求めません。
また、キリスト教への関心をお持ちの方々のために、自由参加で月1回程度、学ぶ機会もございます。

Q 通学範囲の制限はありますか。

A ありません。在校生の居住区域は横浜市内・鎌倉市内を中心に、湘南・三浦・川崎・東京都内から通学している児童もいます。
在学生の通学時間はおおむね1時間前後となっています。

Q 保護者は、どの程度学校行事に参加する必要がありますか。

A 全学年の保護者会と各学年の保護者会にはお越しいただいております。
また、年2回の担任との面談にもお越しいただいております。
その他、公開学校行事や宗教的講話などへは自由に参加できます。
年度初めに年間予定表をお渡しております。

Q 共働きなのですが、受験には不利でしょうか。

A 合否には関係ありません。
教育方針に賛同いただき、共にお子さまの成長を支えていただければ大丈夫です。

Q シングルの家庭ですが、受験には不利でしょうか。

A 合否には関係ありません。

Q 給食はありますか。

A ありません。ご家庭でお弁当をご用意していただくことになっています。
2023年度より週に2度、学校でスクールランチを頼むことが出来るようになりました。
その他の日は、おにぎりを買います。



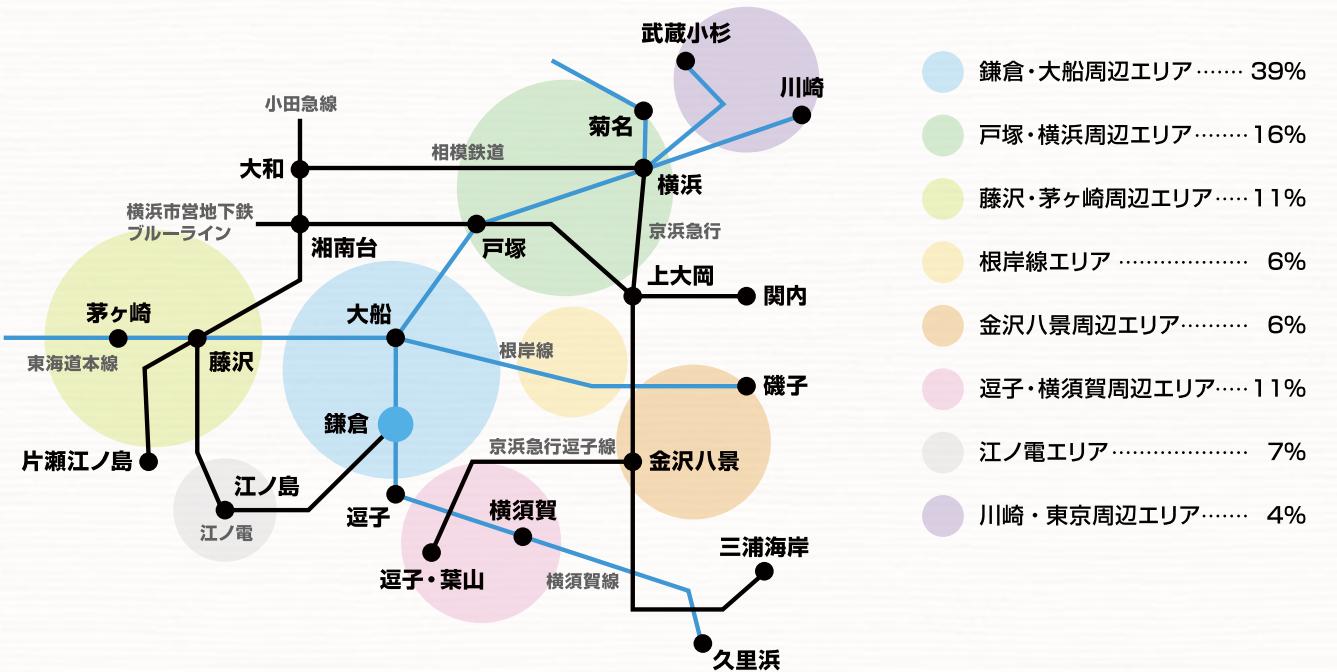
Q 姉妹校の清泉女学院中学高等学校の進路・合格実績はどうなっていますか。

A 2022年度の主な合格実績。

【国公立】一橋1、東京外国语1、横浜国立1、横浜市立2、ほか
【私立】慶應義塾10、早稲田7、上智24、明治17、青山学院13、立教17、中央13、法政12、学習院12、成城9、成蹊2、明治学院20、國學院4、津田塾2、東京女子8、日本女子20、同志社2、北里8、東邦2、防衛医科1、東京音楽1、女子美術1、多摩美術1、武藏野美術3、ほか 清泉女子 31 (うち24名が高大接続入試合格者)
その他、詳細は清泉女学院中学校高等学校HPをご参照ください。▶ <https://www.seisen-h.ed.jp/course/>



通学エリアマップ



通学について

鎌倉駅からの登校

1~4年生 スクールバス 鎌倉駅発車(全4便)

5・6年生 路線バス 又は 徒歩

金沢八景駅・ハイランド方面からの登校

1~5年生 スクールバス ※八景駅発車、途中のバス停で乗車可能

6年生 路線バス



アクセス

①JR横須賀線 鎌倉駅（東口）から

- ・徒歩 約20分
- ・京急バスを利用
バス乗り場『4』金沢八景駅、
鎌倉霊園正門前太刀洗、ハイランド循環(約6分)
バス乗り場『5』大塔宮行きに乗車(約6分)
「岐れ道」(わかれみち)バス停下車徒歩 約3分



②京浜急行 金沢八景駅から

- ・京急バスを利用
バス乗り場『2』鎌倉駅行き[鎌24](約30分)
「岐れ道」(わかれみち)バス停下車徒歩 約3分